

令和3年度

ボラセン通信6月号



発行：社会福祉法人旭川市社会福祉協議会 旭川市ボランティアセンター

この通信は、旭川市ボランティアセンターの取組や、ボランティア活動の報告
ボランティアの募集など、ボランティアに関するさまざまな情報をお届けします！

帰省先でボランティア活動！

現在、道外の大学3年生である小境さんは、3月に道内での就職活動のため実家のある旭川市に一時帰省し、そのわずかな期間で「何かボランティア活動をしたい」とボランティアセンターに相談がありました。そこで、実家に近いグループホームすすかけ（神楽岡地区）での雪割りのボランティア活動をご紹介しました。

小堺さんは、固く盛り上がった道路の雪を約一時間、汗でびしょりになりながらスコップで削り落として雪割り作業を懸命に行いました。

施設管理者からは「施設職員は女性が多く、力仕事が多いのでたいへん助かりました。」と、感謝とお礼の言葉がありました。

小境さんからは「雪を削り段差がなくなっていくことで、目に見えて活動の成果が実感でき、その行動が他人に感謝されることにつながるというボランティア活動の素晴らしさを実体験できました。」との感想がありました。



ボランティア 募集中

活動を希望される方は
ボランティアセンター
へお電話ください。

NPO 法人手と手の森（旭神3条2丁目）

保護猫のお世話をしていただける方
（トイレの清掃やエサのお世話）を
募集しています。午後3時30分～
6時の間で活動時間
はご相談ください。



90代女性宅の除雪（豊岡11条8丁目）

冬期間の毎週月曜日と金曜日の午前
9時頃までに玄関前から
公道までの除雪を
お願いします。



たくさんの **ウエス** をご寄附いただき誠にありがとうございました。

ご寄附いただきましたウエスは、福祉施設へ寄贈して、清掃やコロナウイルス
感染症防止対策などに活用していただく予定です。

ご協力いただきました皆様には心よりお礼を申し上げます。

～旭川市ボランティアセンター・生活支援コーディネーター～



「令和2年度 災害ボランティア養成研修」が開催されました！



旭川市防災安全部防災課 石川秀世 氏 について学びました。

令和3年3月6日（土）、旭川市ときわ市民ホールにて「令和2年度 災害ボランティア養成研修」を開催し、49名の方が参加されました。旭川市防災安全部防災課 石川秀世氏による「災害に備えて～自分の身は自分で守ろう～」、当法人 看護師 岩内いづみによる「災害時の感染症予防について」の講話を行い、災害時には、まずは自分の命を守ることが第一であること、日頃の災害時に備えての準備の必要性



当法人職員 看護師 岩内 いづみ

参加者からは「避難の心得としてたいへん勉強になりました。」
「万が一、旭川で災害が起きたときに、少しでも役に立てたらと思う。」などの感想をいただきました。

「災害ボランティアセンター立ち上げ訓練」 ～災害ボランティアセンターについて知ろう！～

「災害ボランティアセンター立ち上げ訓練」6月12日（土）に実施する予定で準備を進めておりましたが、コロナ感染症防止対策における「緊急事態宣言」発令のため、実施を延期することとしました。

延期後の日程は9月頃を予定しておりますが、詳細が決まりましたらあらためて延期の開催日時をご案内致しますので、どうぞよろしくお願い致します。

「災害ボランティアセンター」とは、大規模な災害が発生した時、一日も早く街が復興・復旧できるように、被災者の困りごと（ニーズ）の相談に対応し、災害ボランティアが円滑に活動できるように調整を行う拠点です。



令和3年度分のボランティア活動保険の加入はお済みですか？

旭川市ボランティアセンターでは、ボランティア活動中のさまざまな事故による「ケガ」や「損害補償責任」を補償するボランティア保険へのご加入をお勧めしています。

- 事故の内容や状況によっては、損害額が全額補償とならない場合や保険金の支払い対象外になる場合もあります。
- ボランティア保険へ加入された方は、必ず**パンフレットをお読みください。**
- 事故が発生した場合は、**速やかにボランティアセンターへご報告ください。**



旭川市ボランティアセンター問合せ先

住 所	旭川市5条通4丁目 旭川市ときわ市民ホール1階		
電 話	21-5550	メール	volunteer@north.hokkai.net
FAX	23-0746	Facebook	「まちづくり ボランティア 旭川」で検索ください
ホームペー	http://www.asahikawa-shakyo.or.jp/volunteer/		